

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(769)8237
担当部課名	経済部	産業振興	課	産業政策 班
事務事業名	市内産業動向調査事業		事業コード	31110

1 総合計画における位置づけ

政策名	第1章	立地特性を生かした産業の振興をめざします	事業開始年度
基本施策名	第1節	活力ある産業の振興	11年度
施策名	第1施策	総合的な産業振興施策の推進	

2 実施根拠及び関連法令等

--

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
相模原市とカナダトロント市の企業の、IT・メカトロニクス及びバイオテクノロジー分野での経済交流の可能性を把握し、平成13年度中に実施予定のトロント市への経済ミッション派遣時の参加企業の発掘も兼ねて実施した。		市内のIT・メカトロニクス及びバイオテクノロジー関連企業	
		対象数	655社
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
1 アンケート調査の実施 (1) 対象 市内関連企業 655社 2 調査項目 企業の概要、海外事業展開の実績、トロント市との事業展開の意向等 2 分析・評価 (1) 経済交流事業への参加予定企業の抽出 (2) 文献・資料等の分析による成功事例調査 (3) ジェトロがトロント市で行うニーズ調査結果を踏まえ、総合的な分析・調査を行う。		(5) 個別計画の概要 計画名 計画年次 年度～ 年度	

4 評価指標

指標名			
指標式			
指標設定の意図			

5 目標と実績

〔金額単位：千円〕

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標			a	b		
指標			c	d		
指標			e	f		
事業費	決算(予算)額	5,000	3,500	1,599	1,599	0
	人員・時間数					
	人件費					
	その他経費					
	合計	5,000	3,500	1,599	1,599	0
特定財源						

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか		
評価 A ▼	A : 達成している (100%)	= 、 、 の平均値 =
	B : 一部達成していない(100%> 80%)	
	C : 達成していない (80%>)	

$\frac{a}{b} \times 100 =$	$\frac{c}{d} \times 100 =$	$\frac{e}{f} \times 100 =$
----------------------------	----------------------------	----------------------------

理由：

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か		
評価 A ▼	A : 適応している	理由： 経済のグローバル化に対応し、中小企業の海外マーケットの開拓、海外企業との技術提携や海外からの部品調達など、今後の経済交流の可能性を、友好都市のトロント市において探るものであるため。
	B : 一部適応していない	
	C : 適応していない	

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か		
評価 A ▼	A : 妥当である	理由： 今後の海外(特にトロント市)との経済交流の可能性を探るための調査であり、費用対効果は測定できるものではないと考える。
	B : 一部妥当でない	
	C : 妥当でない	

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か		
評価 B ▼	A : 代替の可能性ない	理由： 市内中小企業を対象とした調査であり、また、企業規模や財政状況、あるいは語学の問題等からも海外との経済交流には消極的になっている企業が多い現状で、今後の可能性を探る調査の主体としては市が適当である。
	B : 代替の可能性低い	
	C : 代替の可能性高い	

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか		
評価 C ▼	A : 満足できる	理由： アンケートからは、海外との経済交流に関心を寄せる企業は多くなく、関心があっても具体的な計画を描いていない場合がほとんどであった。しかし、業種によっては関心の高い場合もあり、結果的に対象業種を絞り込むことに成果があった。
	B : 一部満足できない	
	C : 満足できない	

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か		
評価 A ▼	A : 有効である	理由： 海外との経済交流は、場当たり的に実施出来るものではなく、周到な調査の上に行うべきで、今後の経済交流を実施する際の有力な基礎データとすることが出来る。
	B : 一部有効である	
	C : 有効でない	

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明：</p> 業種を絞り、設問も具体的にすれば、もう少し反応のある調査になったと思うが、初めての調査であることを考えれば、総論的な調査にならざるを得なかった。
	<p>コスト改善余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明：</p>

7 総合評価

評価 A ▼	他自治体の類似事業との比較	
	今後の進め方	
<input type="checkbox"/>	継続	<p>説明</p> 今回はシンクタンクへの調査委託となったが、今後の海外との経済交流に関しては、今回の調査に基づき業種を絞って(IT及びエレクトロニクス)進める予定であり、今後は対象業種への個別調査など、調査委託などの支出を前提にしない、地道な情報収集の形でニーズをくみ上げていくこととし、今後の展開の様子で再度調査委託等を検討することになる。
<input checked="" type="checkbox"/>	見直し	
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了	

8 二次評価における変更点